

2024年  
9月26日  
NO.55

# 全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合  
全国OB会  
発行人 伊藤 憲治

＜第27回全国OB会定期総会開催される＞



JR貨物労組全国OB会は、9月19日、目黒さつきビルにおいて、第27回定期総会を開催しました。総会は、東北新幹線の分離事故によって、欠席や遅れでの参加がありましたが定刻通りに始まりました。総会議長に西原幹事を選出し、議事が進められました。

主催者を代表し藤原会長が挨拶する予定でしたが、会長は自宅でケガをしたため欠席となり、代わりに並木副会長が挨拶を行ないました。並木副会長は、「今年も昨年に引き続き、猛暑の年です、身体に気をつけましょう。6月に『OB会のあゆみ』9月には『先達の声』を各地方の協力で発行することが出来ました。政治の世界では、8月14日、岸田首相は、突然次期総裁選に出馬しないことを表明しました。『新しい資本主義』『聞く力』をカンバンに発足した岸田政権も、政治と金の問題、防衛費増額等について何ら具体的説明はありませんでした。多くの国民は、自民党政治に対し、不満・不審のあらわれが内閣支持率の低迷と言えます。来たる総選挙においては、JR総連推薦候補者の全員当選に向けてOB会一体となってたたかい、安心して生活できる社会をつくらなければなりません。高齢者を取り巻く状況は、改善されていません。2024春闘下での賃上げ

率は33年ぶりの高水準といわれますが物価上昇に追いつかず、実質マイナスとなっています。JR東海労組員が、貨物労組関西地本委員長でもあるJR総連近畿地協の津崎議長を、名誉棄損で裁判に訴えました。この行為自体が貨物労組破壊行為であり、OB会は津崎氏を支援し闘います。」と挨拶しました。

来賓の村上中央本部委員長より「本部役員は今年の大会で、全員がJR採用となった。総対話行動の実施により各分会の強化をはかりたい」。続いて、根岸全国青年部長より「入社して10年、青年部卒業まであと3年、組合はきついのではなく、楽しそうだと思うような運動を作り出す」。前OB会長である川端氏より「6年ぶりの参加、OB会のあゆみという素晴らしいものできた。自然災害多発しているが、防災意識をもって、健康第一でがんばる」と3名から挨拶がありました。

質疑では、「会員の高齢化により、いままでのような活動はできない」「郵便料金の値上げにより、財政面の心配がある」「高齢化のため参加する会員減少している」「JR東海労の動向が気になる、今後の活動が心配だ」等の意見に対して、全国OB会で議論していくこと確認しました。新体制として、伊藤憲治さんが会長に就任し、新たに副会長に定国彰さん、事務局長に松村慎一さん、会計監査に境将光さんの就任を確認し、総会は終了しました。

## 2024年役員体制

顧問	藤原 博之	関西・岡山機関区	(新)
会長	伊藤 憲治	関東・新鶴見機関区	(新)
副会長	並木 明	関東・大井機関区	(再)
	定国 彰	関西・岡山機関区	(新)
事務局長	松村 慎一	関東・黒磯機関区	(新)
幹事	小澤 光之	北海道・札幌機関区	(再)
	熊谷 章一	東北・東青森駅	(再)
	山崎 智	関東・大井機関区	(再)
	迫 米蔵	東海・稲沢機関区	(再)
	林田 則夫	関西・吹田機関区	(再)
	西原 重延	九州・門司機関区	(再)
	野田 優一	本部・稲沢駅	(新)
会計監査	中村 靖治	関東・新鶴見機関区	(再)
	境 将光	関東・関東支社	(新)

幹事を務めた武藤稔裕さん、会計監査を務めた清水道雄さんが退任いたしました。

本部及びJR総連各単組の皆さんには大変お世話になりました。